

(ADCOM News Release)



報道関係各位

MIB ブラウザが無償で利用できるリミテッドエディションを追加した「Advanced Trap Receiver」の最新バージョン 19.4 を提供開始
～ Docker Compose を利用して簡単にトライアルが可能に ～

2019年10月29日

株式会社アド・コム（Advanced Computer Support Co., Ltd.、本社：東京都中央区、代表取締役：高野 敏晴、URL：<http://www.adcomltd.co.jp/>）は、通信系キャリア、データセンター、オンプレミス運用企業、および金融・医療・研究・教育機関などを対象にした、SNMP トラップ監視運用の効率化を実現するアプリケーション「Advanced Trap Receiver」の最新バージョン 19.4 を 2019 年 11 月 1 日から提供開始します。

「Advanced Trap Receiver」の最新バージョン 19.4 では、有償ライセンスの「スタンダードエディション」に含まれる MIB ブラウザや SNMP トラップログの参照など一部の機能が利用できる「リミテッドエディション」を新たに追加します。今回追加する「リミテッドエディション」はネットワークやシステムの SNMP に関連する検証やテストで利用できるエンジニアリングツールとして、無償ライセンスでの提供を行います（営利目的での利用、改変、再配布は不可）。

本アプリケーションの MIB ブラウザはオープンソースソフトウェア Net-SNMP の snmptranslate コマンドから取得した MIB オブジェクトの情報をベースに、MIB のツリー構造や MIB オブジェクトの定義内容を WEB ブラウザから参照することができます。MIB オブジェクトはシンボル（例 .iso.org.dod.internet.mgmt.mib-2.system.sysDescr）、および数値（例 .1.3.6.1.2.1.1.1）タイプの OID に加え、モジュール名とオブジェクト名（例 RFC1213-MIB::sysDescr）を組み合わせた Net-SNMP のデフォルト出力形式に対応し、目的とする MIB オブジェクトを素早く簡単に検索することができます。

MIB ブラウザの画面では、MIB オブジェクトの値の取得や設定を行う snmpwalk、snmpget、snmpset の実行や SNMP トラップログの参照なども行えます。また、「スタンダードエディション」では、受信トラップのイベント通知メールの本文に MIB オブジェクト用の置換変数 {MIB.DEFINITION}、{MIB.DESCRPTION} などを設定することができます。これにより、トラップやバインド (VARBINDS) の内容と合わせて、それらのオブジェクト定義や説明をイベント通知メールから確認できるようになります。

なお、今回の最新バージョン 19.4 からコンテナ型仮想化の Docker 環境で「Advanced Trap Receiver」が構築できる Docker Compose ファイルを用意しました。Docker Compose は簡単に複数コンテナ構成の作成や削除を一括管理することができるため、トライアルやテスト環境等を構築する場合にご活用ください。

アド・コムでは、IT ファシリティのコンサルティングをはじめ、最新技術を搭載したコンパクトで効率の高い空調機や UPS、STS、データセンター向けトラックバスダクトシステム、バッテリーモニタリングシステムなどの販売、エンジニアリングサービスを提供し、企業や研究機関における安定したシステム運用を総合的に支援していきます。

◆ 発売開始：2019年11月1日より

◆ 価格

スタンダードエディション 198,000 円～

(詳細は別途お問い合わせください)

「Advanced Trap Receiver」最新バージョン 19.4 の主な特長：

- ・パターン条件によるトラップの分類やフィルタリング
(ホスト名、IP アドレス、トラップ OID、バインドデータ*1 に対応)
- ・トラップの基本情報に深刻度やカテゴリなどを付加したイベントを生成
- ・バインドデータを組合せたイベント名称の作成 (日本語対応)
- ・イベント非生成期間、イベントカウンタによる重複イベントの集約
- ・メール通知、REST、およびシェルスクリプトに対応するイベント連携
- ・トラップイベントの確認操作履歴を残す管理機能
- ・グラフィカルなレポート表示やランキング表示 (CSV ファイル出力対応)
- ・MIB ブラウザ機能 (snmpwalk、snmpget、および snmpset 機能を含む)
- ・ブラックリスト機能による受信トラップの除外
- ・トラップのデータをさまざまなアプリケーションやスクリプトでシェア

*1 バインドデータは数式条件と文字列条件にも対応

◆ 「リミテッドエディション」についての補足事項

- ・ライセンス利用期間は 1 年間 (1 年以降も無償ライセンスとして継続利用可)
- ・MIB ブラウザ機能 (snmpwalk、snmpget、および snmpset 機能を含む) が利用可
- ・受信トラップログの参照機能が利用可 (イベント生成、メール通知機能等は不可)
- ・ブラックリスト機能 (受信トラップの除外) が利用可
- ・MIB モジュール数 (MIB ファイル数) や MIB オブジェクト数などの利用制限なし
- ・スタンダードエディションや弊社取扱商品の広告表示あり
- ・営利目的での利用、改変、再配布は不可
- ・ライセンスの提供は弊社のみ (パートナー経由のライセンス提供はなし)
- ・サポート関連 (別途有償対応)

◆ 想定される主な導入先

- ・通信系キャリア
- ・データセンター
- ・オンプレミス運用企業
- ・金融、医療、研究、教育機関

◆ 「Advanced Trap Receiver」商品ページ

<http://www.adcomltd.co.jp/appli/atr/>

◆ 資料請求のお申し込み

<https://www.adcomltd.co.jp/appli/atr/request/>

◆ エンドユーザライセンスのお申し込み

<https://www.adcomltd.co.jp/appli/atr/license/>

上記 URL から、「スタンダードエディション」、「リミテッドエディション」、および「トライアルエディション」（試用期間最大 3 ヶ月）のお申し込みが行えます。

◆ アプリケーション動作環境

・ サーバー OS *2

CentOS Linux(x86-64) 7, 8 / Debian(amd64) 9(stretch), 10(buster) / Oracle Linux(x86-64) 7, 8 / Red Hat Enterprise Linux(x86-64) 7(Maipo), 8(Ootpa) / Ubuntu(amd64) 16.04 LTS(Xenial Xerus), 18.04 LTS(Bionic Beaver)

・ クライアント WEB ブラウザ *2 *3

Firefox 69 以上 / Google Chrome 78 以上 / Internet Explorer 11 / Microsoft Edge 44 以上 / Opera 64 以上 / Safari(macOS) 12 以上 / Safari(iOS) 12 以上 (QXGA 以上)

・ サポート言語

日本語(ja)、英語(en-US)

*2 弊社動作確認済みのバージョン

*3 WEB ブラウザに Flash Player、Java、Silverlight などのプラグインのインストールは不要

◆ ソリューションパートナー、およびシステムデバイスパートナー（順不同）

Zero Networks 株式会社 <http://www.zeronetworks.co.jp/>
TEL: 03-6550-9246（営業部） e-mail: sales@zeronetworks.co.jp

株式会社アデットバリューコンサルティング <http://www.sherpasuite.net/>
TEL: 050-5212-3731（営業企画本部） e-mail: sales@addvc.co.jp

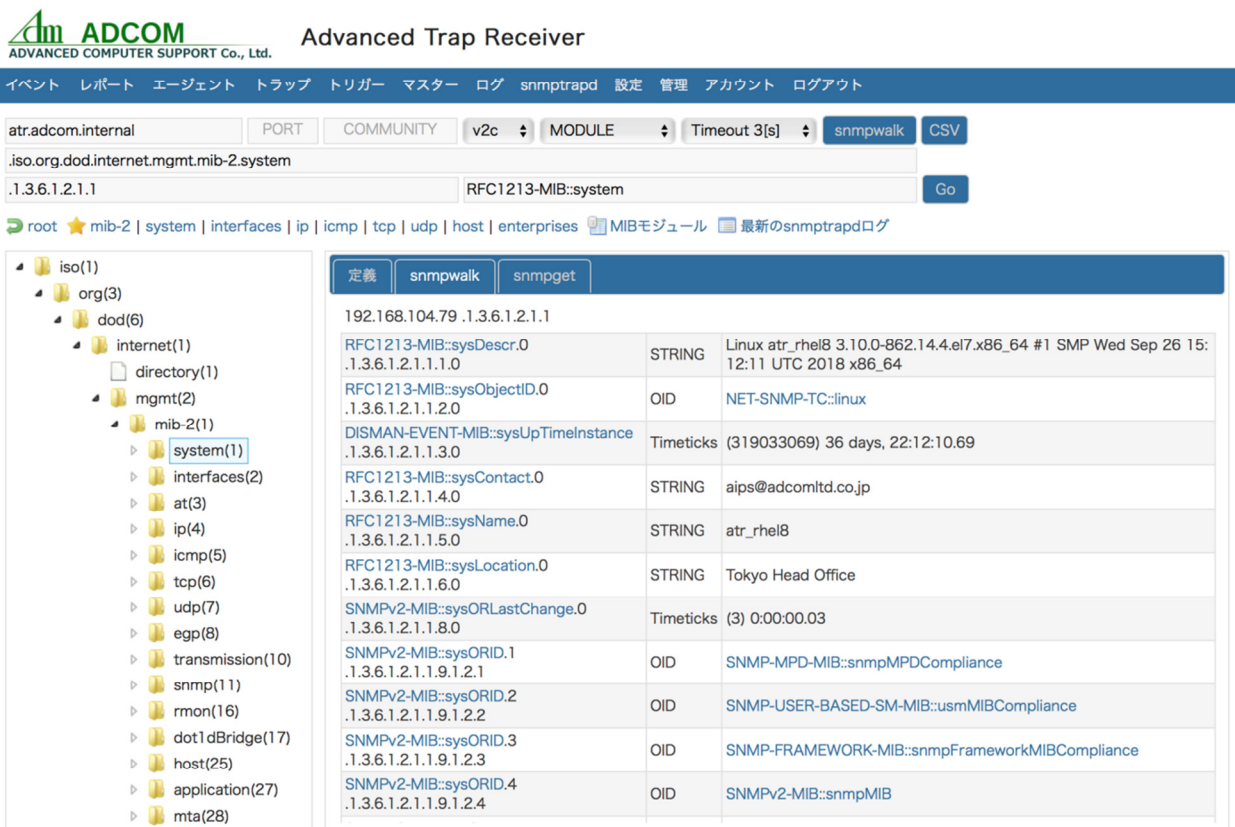
中央電子株式会社 <http://www.cec.co.jp/>
TEL: 042-621-5531（プロダクトソリューション事業部）

株式会社アイエスエイ <http://www.isa-j.co.jp/>
TEL: 03-3208-1563（営業部） e-mail: info@isa-j.co.jp

◆ ニュースリリース画像一覧



画像 1 : MIB ブラウザの画面



画像 2 : snmpwalk 実行画面

50件のデータを表示しました(50件中)

2019-08-05 - 2019-09-04

ID	日時 (unixtime.microsecond)	HOSTNAME	
		IPADDRESS	VARBINDS
61	2019-09-04(水) 15:52:10 (1567579930.693597)	www.adcom.internal	UDP: [172.16.187.81]:57803->[172.16.187.81]:162 sysUpTime: 0:0:00:07.95 snmpTrapOID: SNMPv2-MIB::coldStart
60	2019-09-04(水) 15:51:16 (1567579876.906297)	cat3650.adcom.internal	UDP: [172.16.187.10]:37227->[172.16.187.81]:162 sysUpTime: 97:6:47:46.75 snmpTrapOID: IF-MIB::linkUp [0]: RFC1213-MIB::ifIndex.2 = 2 [1]: RFC1213-MIB::ifAdminStatus.2 = up [2]: RFC1213-MIB::ifOperStatus.2 = up
59	2019-09-04(水) 15:21:50 (1567578110.513000)	cat3650.adcom.internal	UDP: [172.16.187.10]:42949->[172.16.187.81]:162 sysUpTime: 97:6:18:20.31 snmpTrapOID: IF-MIB::linkDown [0]: RFC1213-MIB::ifIndex.2 = 2 [1]: RFC1213-MIB::ifAdminStatus.2 = down [2]: RFC1213-MIB::ifOperStatus.2 = down
58	2019-09-04(水) 10:04:12 (1567559052.787012)	<UNKNOWN>	UDP: [172.16.187.1]:54685->[172.16.187.81]:162 sysUpTime: 15:15:50:06.33 snmpTrapOID: DISMAN-EVENT-MIB::mteTriggerFired [0]: DISMAN-EVENT-MIB::mteHotTrigger.0 = memoryReachedThresh [1]: DISMAN-EVENT-MIB::mteHotTargetName.0 = [2]: DISMAN-EVENT-MIB::mteHotContextName.0 = [3]: DISMAN-EVENT-MIB::mteHotOID.0 = UCD-SNMP-MIB::memTotal [4]: DISMAN-EVENT-MIB::mteHotValue.0 = 1633524

MIBオブジェクトの参照 ☐ ✕

オブジェクト IF-MIB::linkDown

IF-MIB::linkDown
.1.3.6.1.6.3.1.1.5.3

linkDown NOTIFICATION-TYPE
- FROM IF-MIB
OBJECTS (ifIndex, ifAdminStatus, ifOperStatus)
DESCRIPTION "A linkDown trap signifies that the SNMP entity, acting in an agent role, has detected that the ifOperStatus object for one of its communication links is about to enter the down state from some other state (but not from the notPresent state). This other state is indicated by the included value of ifOperStatus."

[0]: RFC1213-MIB::ifIndex
.1.3.6.1.2.1.2.2.1.1

ifIndex OBJECT-TYPE
- FROM RFC1213-MIB, IF-MIB
SYNTAX INTEGER
MAX-ACCESS read-only
STATUS mandatory
DESCRIPTION "A unique value for each interface. Its value r

画像 3 : 受信トラップログの参照画面

件名 未分類のトラップ DISMAN-EVENT-MIB::mteTriggerFired を受信しました

受信日時: 2019-09-04 10:04:12

イベント: DISMAN-EVENT-MIB::mteTriggerFired

エージェント: 172.16.187.1
カテゴリ: 未分類

トラップOID: DISMAN-EVENT-MIB::mteTriggerFired
バインドデータ:
[0]: DISMAN-EVENT-MIB::mteHotTrigger.0 = memoryReachedThreshold
[1]: DISMAN-EVENT-MIB::mteHotTargetName.0 =
[2]: DISMAN-EVENT-MIB::mteHotContextName.0 =
[3]: DISMAN-EVENT-MIB::mteHotOID.0 = UCD-SNMP-MIB::memTotalFree.0
[4]: DISMAN-EVENT-MIB::mteHotValue.0 = 1633524

(MIBの説明)
Notification that the trigger indicated by the object instances has fired, for triggers with mteTriggerType 'boolean' or 'existence'.
[0]: The name of the trigger causing the notification.
[1]: The SNMP Target MIB's snmpTargetAddrName related to the notification.
[2]: The context name related to the notification. This MUST be as fully-qualified as possible, including filling in wildcard information determined in processing.
[3]: The object identifier of the destination object related to the notification. This MUST be as fully-qualified as possible, including filling in wildcard information determined in processing. For a trigger-related notification this is from mteTriggerValueID. For a set failure this is from mteEventSetObject.
[4]: The value of the object at mteTriggerValueID when a trigger fired.

--
このメールはAdvanced Trap Receiverから自動的に送信されています。

画像 4 : MIB の説明が確認できるイベント通知メールの例



複数コンテナの構成を一括管理する
Docker Composeを利用して、
簡単にAdvanced Trap Receiverの
トライアルを始めることができます。
(Composeファイルを用意しています)

1. サービスのビルドと起動

```
# docker-compose up -d --build
```

:

```
Creating compose_atr_mariadb_1 ... done  
Creating compose_atr_httpd_1    ... done  
Creating compose_atr_snmptrapd_1 ... done  
Creating compose_atr_atrd_1     ... done
```

2. WEBアプリケーションの設定

```
# docker-compose exec httpd /opt/atr/setup 192.168.0.162
```

上記、2つのコマンドでトライアルを始めることができます。

画像5 : Docker Compose を利用したトライアル環境の構築



【本ニュースリリースに関する情報】

添付資料：画像 5 枚

「Advanced Trap Receiver」商品ページ:

<http://www.adcomltd.co.jp/appli/atr/>

報道関係各位お問い合わせ先：

TEL: 03-5542-0251 (PR 担当)

FAX: 03-3553-2276

e-mail: aips@adcomltd.co.jp

お客様お問い合わせ先：

TEL: 03-5542-0251 (PR 担当)

e-mail: aips@adcomltd.co.jp

お問い合わせページ：

<https://www.adcomltd.co.jp/contact/>

【会社概要】

社名：株式会社アド・コム

設立：1992（平成 4）年 1 月

資本金：2,025 万円

代表取締役社長：高野 敏晴

住所：104-0033

東京都中央区新川 1 丁目 22 番 11 号（永代ビル）

ホームページ：<http://www.adcomltd.co.jp/>

※文中の社名、商品名、機種名、各社の商標は登録商標です。

※株式会社アド・コムは本ニュースリリースの記載内容に技術的誤りや欠落、記載にあたっての誤りや漏れがあった場合でも何ら責任を負いません。

2019 年 10 月